



つなぐ想いが ここに 있습니다。

すぎのこ会には“想い”があります。『支援を必要とされる方と、いつも笑顔でいたい』。

ただその一心で、利用者さんとともに歩み、成長してきました。

想いをつないで40年。そして、これからも…。

1976年。 すべては、保護者の方々の 切実な声から始まりました。

1970年代後半。世の中が豊かになり、
若者が旅行ブームに沸く一方で、
障害を持つ子どもは
養護学校（現在の特別支援学校）を卒業すると、
在宅を余儀なくされていました。
「卒業したら、どこへ行けばいいの…？」。
わが子の行く末を案じた
保護者の切実な声を受け、
岩崎俊雄（現理事長）は立ち上がりました。
当時まだ26歳。



「障害児は

大人になったら

行くところがない」

『重い障害があっても入所できる成人施設を』。当時、この地域の福祉施策は不十分でも、目の前には施設を待ち望む保護者と、信頼のまなざしを寄せる障害児がいました。あきらめず飛び回る若者の熱意は、やがて行政を動かし、寄付金や補助金で建設にこぎ着けました。そして、1976年、「すぎのこ学園」が誕生しました。

これまででも、これからも

「すぎのこ学園」はすぐに満床となり、1984年に「あすなる園」を新設。さらに、「昼間だけ利用したい」という声から「あすなる園」に通所部も併設。その後も、グループホーム、障害児の通園や様々な通所サービス、高齢者施設など、制度の狭間にあるニーズに応えるかたちで、施設やサービスを広げました。

サービスの原点は、支援を必要とされる方の声。その姿勢はこれからも変わりません。



すぎのこ会が 設立から大切にしてきた 3つのこと。

すぎのこ会の理念は、1976年の設立当初から
一言一句変わりません。

「利用者が生きがいのもてる施設」

「地域と密着し、地域社会と交流のもてる施設」

「一貫した福祉を保障する施設」

当時としては耳慣れない言葉ばかりでしたが、

私たちはこの3つを心の拠りどころに、

利用者さんとずっと歩んできました。

そしてその理念は、今でもベテランから新人に至るまで、

しっかり受け継がれています。



01 利用者が 生きがいのもてる施設

利用者本位の質の高いサービスを提供する。例えば、障害者施設として外部から仕事を受けて収入を得るという事業も、「仕事がしたい」という利用者さんの希望によりスタート。設立当時は画期的でした。「旅行に行きたい」「自立したい」。願いをひとつずつ実現し、利用者さんの生きがいを共有してきました。からこそ、現在のすぎのこ会があります。



02 地域と密着し、地域社会と 交流のもてる施設

利用者さんは地域の一員。利用者さんにも地域の方々にも、自然とそう感じてもらえるようにしたい。だから、少人数の施設を地域に点在させています。道で会えば挨拶し、地域を清掃し、地域の方とお祭りを楽しむ。私たちが何気なく行ってきたことが、今では社会福祉施設のスタンダードになっています。



地域の方々をお招きした秋祭りの様子

03 一貫した福祉を 保障する施設

例えば利用者さんがご家族を亡くした後も、利用者さんが高齢になっても、ずっと安心して生活できるように。利用者さんのライフステージに応じて必要なサービスをご提供します。現在では、障害者だけでなく、高齢者、児童など、私たちのサービスを必要とする人を、トータルにサポートすることを目指しています。



目の前の利用者さんの ニーズと向き合い続け、 今に至ります。



利用者さんがどんなサービスを求めているか。子どもなら発達支援を、その子が就学したなら放課後デイサービスを、大人になったら就労支援を、高齢になったら介護施設を…など、利用者さんのニーズに对应してきた結果、施設やサービスが広がりました。

これからも利用者さんの声に耳を傾けながら、本当に必要とされるサービスをご提供していきます。

子どもから高齢者まで、
一人ひとりに合った
安心のサービスをご提供します。

相談窓口

障害者や高齢者、そしてそのご家族に、今の状況やお困りのことなどをお聞きし、アドバイスやその方に合ったサービスをご提案します。

子ども

療育のサポート

- 児童発達支援
- 放課後デイサービス

一人ひとりに合わせて、日常生活に必要な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。また、学校に通っている場合、学校帰りや学校休業日に利用できるサービスも展開しています。

大人

日中の支援

- 生活介護
- 自立訓練
- 就労支援

昼間に施設に通っていただき、入浴・排せつ・食事などの支援をはじめ、自立した日常生活を行うための訓練や、一般企業への就労のサポート、働く場のご提供などを行っています。

生活の場の提供

- 入所支援
- ショートステイ
- グループホーム

夜間も生活介護を必要とする方に、生活の場をご提供しています。また、短期間での利用や、少人数で共同生活を送っていただけるグループホームなどのサービスも行っています。

ご自宅でのサポート

- 居宅介護
- 行動支援
- 移動支援

ご自宅での生活をサポートするサービスです。入浴・排せつ・食事・買い物・洗濯・掃除・通院の介助など、障害やご家族の状況に応じて、身の回りの介護を行います。

高齢者

生活の場の提供

- 入所支援
- ショートステイ
- 日中の支援
- デイサービス

ご自宅でのサポート

- 訪問介護

超高齢化社会に対応するため、障害の有無に関わらず、介護が必要な高齢者に入所・通所・ご自宅でのサポートを展開しています。

職員の笑顔が 利用者さんやご家族の 笑顔を生みだします。



職員の安心が利用者さんの安心。職員がいきいきと働くことができ、こそ、利用者さんが安心して生活できるサービスをご提供できると考えています。そのために、ライフステージに合わせて長く働ける環境を用意しています。

例えば、子育て期の職員を周りが支え、子育てが終われば今度は自分が他の職員を支える。みんなで支え合っている職場です。



すぎのこ会の教育

研修制度に自信があります。「研修部」という専門部署を設け、内部研修はもちろん、県や関係団体の外部研修にも積極的に参加できるようにしています。

また、新人教育には「エルダー制度」を導入。1年目の職員には2〜3年目の先輩職員がマンツーマンで付き、施設のルールや実務指導を行います。年齢が近いと日常生活の相談もしやすく、仲間意識やチームワークを高めることにも役立っています。

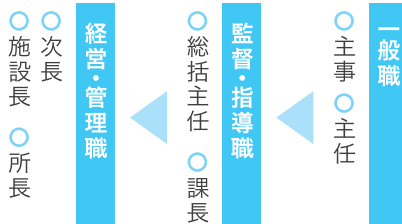


キャリアパス

研修や評価制度と連動した、キャリアアップのシステムを体系化しています。

また、キャリアに関する面談を毎年行い、能力や適性にあった施設への異動を考慮。すぎのこ会には施設や事業所が多数あるので、管理者・相談員・現場のスペシャリストなど、様々な仕事に挑戦できる可能性があります。

管理者を目指す場合のキャリアパス



子育て中の職員を 応援します

「産後は1年休んで復帰」が当たり前の雰囲気。復帰後は短時間勤務で子育てに専念し、一段落したらフルタイムに戻る女性がたくさんいます。育児経験は、利用者さんのご家族とのコミュニケーションにも役立つと考えています。



様々なフィールドで 活躍できます

農作業ひとつとっても、何を作るか、どこで販売するか、街と連携できないかなど、多様なアイデアが求められます。福祉だけでなく、ビジネス、街づくり、イベントなど、いろいろな力が役立つフィールドが広がっています。



▲ 就労支援として運営している店舗では、農作業で収穫した野菜を使用することも。

活気にあふれています

起床から就寝まで、知的障害を持った利用者さんの生活をお手伝いしています。

利用者さんと過ごす時間はおだやかですが根気が必要。時には悩むこともありま。そんなときは職員仲間とごはんにいきます。同年代が多いし、いつも「利用者さんのため」を真剣に考えている人

たちなので、相談しやすく元気になれます。また、職員サークル(バスケットとフットサル)にも参加しています。すぎのこ会全体から若手職員が参加するので、他の事業所の話も聞けて良い刺激になります。そんな仲間と一緒に成長していきたいです。



森下 俊一 ひきの杜共生／施設入所支援
(2012年新卒入社・東京福祉大学卒)

研修制度が充実しています

保育士として、障害児の発達支援をしています。純粋な子どもたちと接するのは楽しいし、一人ひとりとしてしっかり向き合えるので、やりがいがあります。

担任は責任が大きいので、月1〜2回の研修で知識と技術を高めています。お母さんとのコミュニケーション方

法、就学支援の仕方など、現場ですぐ実践できることが多く、とても役に立ちます。子どもたちの笑顔が見たいし、お母さんの不安を取り除いてあげたい。すぎのこ会は、自分で見つけた外部研修にも参加させてくれます。10年後も現場で子どもたちと接していきたいです。



見目 礼奈 ひまわり／児童発達支援
(2013年新卒入社・佐野短期大学卒)

利用者さんに寄り添っています

利用者さんやご家族とお

話するのが楽しくて、入所勤務から相談支援に異動しました。お悩みや状況をじっくりうかがい、適したサービスを組み立てたりする仕事です。進学、仕事を始めるなど節目に携われたときは、ご本人とご家族のがんばりを見

くくなります。

私には目標にしている先輩がいます。その方を話題にするだけで、利用者さんもご家族もニコッと笑い、どこか安心されたような表情になります。利用者さんとご家族に寄り添い、お悩みを共有してきた証ですよ。私もそんな人になりたいです。



中田 真希 もくせいの里／相談支援
(2010年中途入社・群馬医療福祉大学卒)

やりたい仕事があります

就労支援と生活介護を担当しています。

就労支援の一つである農作業では、利用者さんと野菜を作って販売し、収益を分配します。立派な野菜ができたお客さんに「おいしかったよ」と声をかけていただいている、利用者さんと一緒に喜んでいます。どんな野菜を作る

か、どこに販売するか、どの利用者さんにどんな仕事を担当してもらうか。課題を見つ

けて挑戦することが多く、飽きません。珍しい野菜を世間が注目する前から作ったりもしているんですよ。毎日利用者さんと楽しみながら、やりがいを感じています。



齋藤 博明 すぎのこ／就労支援
(2008年新卒入社・国際医療福祉大学卒)

施設・事業所のご紹介

日光市

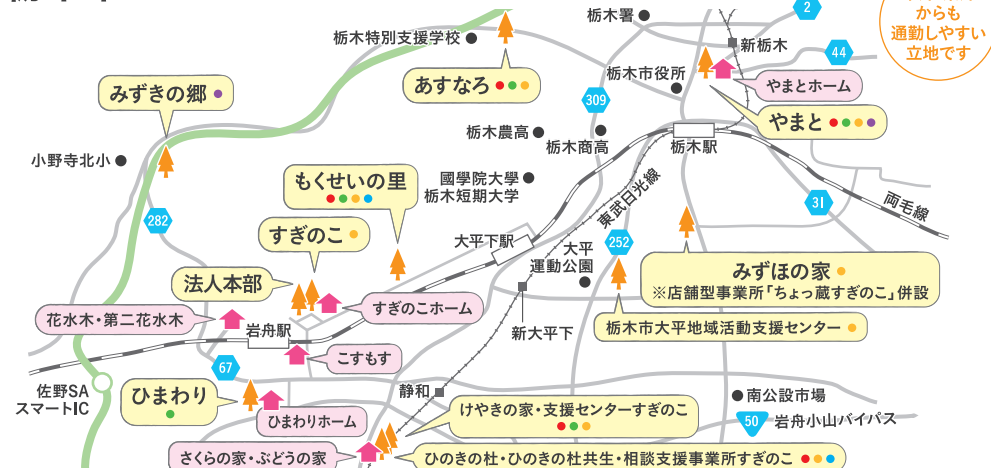
栃木市

●相談・在宅 ●児童 ●日中活動 ●入所 ●介護 ▲グループホーム

日光市



栃木市



法人本部 … 栃木市岩舟町鷺巣302-1 / もくせい里 … 栃木市大平町西山田1198

ひのきの杜・ひのきの杜共生・相談支援事業所すぎのこ … 栃木市岩舟町曲ヶ島806-1 / すぎのこ … 栃木市岩舟町鷺巣279-1

けやきの家・支援センターすぎのこ … 栃木市岩舟町曲ヶ島825-3 / あすなろ … 栃木市大皆川町572-2

ひまわり … 栃木市岩舟町静1612 / やまと … 栃木市万町27-9 / みずほの家 … 栃木市大平町横堀672

栃木市大平地域活動支援センター … 栃木市大平町真弓1396 / みずきの郷 … 栃木市岩舟町小野寺1500

採用お問い合わせ先

TEL.0282-54-3131 社会福祉法人すぎのこ会 採用窓口(ひのきの杜 内)
〒329-4306 栃木県栃木市岩舟町曲ヶ島806-1 <http://www.suginokokai.or.jp/>